

2019年5月14日

HOYA 株式会社メディカル事業部

## 暗所視支援眼鏡「HOYA MW10 HiKARI」

### 2019年5月21日より広角カメラレンズを追加装備

HOYA 株式会社メディカル事業部（以下「HOYA」）は、2018年4月より夜盲症により暗所で物が見えにくい方の支援を目的とした暗所視支援眼鏡「HOYA MW10 HiKARI」を販売してきましたが、この度、発売1年を記念して、視野支援を目的とした広角カメラレンズを追加でご提供することとなりました。

本機器は HOYA 独自開発の小型低照度高感度カメラで捉えた像を、明るい映像として装用者の目の前の有機 EL ディスプレイに投影する眼鏡タイプのウェアラブル機器です。夜盲症の方々が本機器を装用することで、暗所においても対象物を自然な色彩で見ることができるようになります。

本機器に従来から搭載されている標準カメラレンズでは、肉眼で約 27 度相当の視野の画像をディスプレイに投影できますが、今回新たに追加された広角カメラレンズでは、約 142 度相当の画像をディスプレイに投影することが可能になります。それゆえ、広角カメラレンズは、明所・暗所を問わず視野狭窄でお困りの方の視野支援に有効です。視野狭窄の方でも、広角カメラレンズを使用することにより、ご自身の視野の中でより多くの視覚情報を得られるようになります。装用者が、ご自身の使用する用途または環境によって、従来の標準カメラレンズと広角カメラレンズを適宜使い分けることにより、本機器の利便性がより高まると期待できます。

なお、昨年 4 月の発売以降これまでに本機器を購入された方々に対しても、期間限定で今回追加となった広角カメラレンズを無償で提供すると共に、ソフトウェアのバージョンアップを行います。2019年6月1日より同年9月30日までの期間でこのサービスを実施しますので、購入された販売店にお問い合わせ下さい。

広角カメラレンズを追加した後の「HOYA MW10 HiKARI」のメーカー希望小売価格は、395,000円（消費税別）と据え置きました。また、従来のボディカラーは、ベースカラー2色とオプションカラー（追加料金あり）3色の計5色でしたが、今後は人気カラー3色（黒、ネイビー、グレー）に絞り込み、全カラー統一料金でのご提供となります。

本機器は2019年5月14日時点で全国各地の30施設にて販売されており、さらに7施設にて装用体験ができます。

HOYA MW10 HiKARIをお求めの際は、眼科医療施設で眼科専門医にご相談されることをお勧め致します。本機器にご経験をお持ちの眼科医療施設、および本機器の詳しい説明、仕様、販売店等のお問い合わせは、HOYA MW 専用ホームページ（<http://hmwpj.com>）もしくはHOYA MW コールセンター（電話 0570-003-487、平日 10 時半～17 時）で受け付けております。



## HOYA について

1941年に東京、保谷町（現在の西東京市）で創業した HOYA は、高度な先端技術を軸に、エレクトロニクスならびに医療関連製品を製造・販売する医療技術企業です。HOYA は現在「情報・通信」と「ヘルスケア」の事業領域において、光学レンズ、HDD 用ガラスディスク、半導体、液晶パネル用の高精細部品、さらにはメガネレンズ、コンタクトレンズ、医療用内視鏡などの事業を展開しています。世界に150以上の拠点、子会社を有し、37,000人の社員を擁するグローバル企業です。メディカル事業部は、白内障によって白濁した水晶体を取り出した後に挿入する人工水晶体である眼内レンズを開発・製造・販売する HOYA グループの事業部門です。詳細については、<http://www.hoya.co.jp> をご覧ください。